

第 12 回基本政策部会 議事要旨

- 1 日 時
令和元年 10 月 9 日（金）10:00～12:30
- 2 場 所
内閣府宇宙開発戦略推進事務局
- 3 出席者
 - (1) 委 員
中須賀部会長、松井部会長代理、青木委員、石田委員、片岡委員、栗原委員、白坂委員、角南委員、林委員
 - (2) 事務局
宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、岡村審議官、吉田参事官
 - (3) 関係省庁
内閣官房内閣情報調査室
内閣衛星情報センター管理部総務課長 今西 靖治
総務省国際戦略局宇宙通信政策課長 住友 貴広
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課長 藤吉 尚之
農林水産省政策課技術政策室課長補佐 添田 孝志
経済産業省製造産業局宇宙産業室長 是永 基樹
国土交通省総合政策局技術政策課課長補佐 中川 誠
環境省地球環境局総務課
脱炭素化イノベーション研究調査室長 中島 恵理
防衛省防衛政策局戦略企画課長 松本 恭典
 - (4) オブザーバ
後藤宇宙政策委員、山崎宇宙政策委員
- 4 議事要旨（○：意見等）
 - (1) 令和 3 年度宇宙関係予算の概算要求の状況について
資料 2-1、資料 2-2、資料 2-3、資料 2-4、資料 2-5、資料 2-6、資料 2-7、資料 2-8、資料 2-9 に基づき、事務局、内閣衛星情報センター、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省から令和 3 年度宇宙関係予算について、5,000 億円を超える概算要求の各府省の要求内容の説明があった。
 - (2) 宇宙基本計画工程表改訂に向けた主要論点について
資料 3 に基づき、事務局による説明のあと、以下のような意見があった。
 - ISS を含め、低軌道の今後の活用のあり方を、時間軸を考えて、早急に行う必要がある。
 - サブオービタル飛行に対する環境整備を早急に行う必要がある。
 - 海外市場開拓に向けて、ODA も含めた外交戦略が必要。
 - アルテミス、安全保障、宇宙の利活用など政府がこれから注力する分野に民間企業の力をどう使っていくか横断的に考える必要。
 - 民間投資の予見性を高めるため、民間ができる分野は民間に任せていく道筋を具体化していく必要。
 - 防災の観点では、災害だけでなく、火山やインフラなど平時の継続的なモニタリング機能の強化も重要。

○各省予算が縦割りになるのではなく、横串で捉えて、宇宙政策としてのプライオリティに基づいて戦略的に取り組んでいくことが重要。

(3) 衛星開発・実証小委員会の設置について

資料4に基づき、事務局から、衛星開発・実証小委員会の設置について説明があり、原案のとおり了承された。